



町長日誌 No.46

町長日誌の第46号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

5月17日(木) PM6:00

夕方、網走～東京～札幌（2泊3日）の出張を終えて帰って来ました。その後、午後7時から開催の商工会総会に出るまで時間がありましたので、町長2期目最初の『町長日誌』を書いています。

改めまして、2期目の町政を担わして頂く事になりました、宜しくお願いします。また、この日誌も続けさせてもらえるようなので、締め切りと戦いながら頑張ってお届けをしたいと思っています。

さて、5月本来の気温にならず寒い日が多いためか、桜の開花が遅れています。昨年、桜の会の皆さんできれいに整備して頂いた、宮下にある旧妙覚寺境内の百年桜が満開になる日を心待ちにしています。今、町では「みどりのまちづくり計画」の一つとして『おこっぺ花とみどりの会』を中心的組織として、花の好きな皆さんにボランティアで、先ほどの桜やルピナス、スイセンなどで酪農の丘や町の中をきれいに演出していただく取り組みを行っています。幸いな事に、花とみどりの会に(株)ニトリから18、19年と2年続けて500万円の応援基金を頂戴して苗木などの購入や整備費用として使わせて頂いています。花を咲かせて皆で楽しむ、素晴らしいことですが、問題はそれまでの栽培・管理が費用・労力共に大変なのですが、花とみどりの会やニトリさんのような応援があることは、興部町にとって大きな支えです。

4月23日(月)

雪印乳業東京本社から川成専務が見えられ、「取締役会において興部工場の粉乳製造を7月1日から止めて、練乳を中心とした工場にすると決定した。従って正規採用職員32名のうち11名を他の工場に異動したい」との事でありました。私からは「企業としての方針は分からない訳ではないが、現在、総処理量57,000tのうち練乳生産は1/3なので練乳工場と言っても先行きが不安である。また西興部を含め町内農家の牛乳が全て興部工場に出荷出来ないとなれば、受け入れ先を含めて調整に時間が掛かる、とても7月までには間に合わない、唐突すぎる。」と申し上げました。

5月16日(水)

5月8日に議会との協議を経て、雪印側と日程調整を行い、前田議長、横内常任委員長、真坂組合長、河原副組合長、阿部商工会長の皆さんにご協力頂きAM9:30から東京四谷にある雪印本社で高野瀬社長に「粉乳製造存続」を申し入れましたが、社長からは「決定したことなので理解して頂きたい、工場は練乳を中心とした工場として存続する。7月1日に変更は無い。」との回答でした。私からは、「練乳を残すと言うが、きちんとした練乳生産販売の中・長期計画書を提出して頂かなければ到底理解できない。また、生乳の受け入れについても西興部村も含めて農協・農家の理解を得ていない。」と申し上げると、社長からは「計画書を提出する。生乳の受け入れ体制についてもホクレンと協議の上、理解を得られるようにしたい。」との回答でした。会談後、飛行機で札幌に戻りPM4:00ホクレンに要請、翌17日には雪印北海道支社にも要請を行いました。現在でも未だ興部工場でどれ位牛乳を受け入れるのか？ 残りの牛乳をどこに運ぶのかが未定で、更に他工場でもこの後整理が予想される等、再建を急ぐ雪印乳業のあせりも感じられます。いずれにしても、興部工場の存続をより強固なものとするため努力してまいりますので、町民皆様のご支援をお願いします。

20日(日)沙留漁協主催の「豊かな緑と海を育む森づくり事業の植樹祭」が豊畑で行われましたが、雪で一面真っ白でした。気象庁は19年ぶりの遅い雪と発表していますがインフルエンザも今頃になって増えていて、26日から始まる運動会の開催が心配です。皆さん体調管理には十分気を付けて頑張ってください。では、また。



町長のメールアドレスは、mayor@town.okoppe.hokkaido.jpです。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。